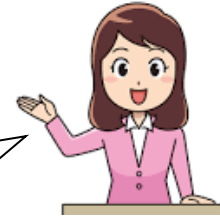


町田市スタンダード～授業デザインする8つの取組を基にした基本的指導過程～

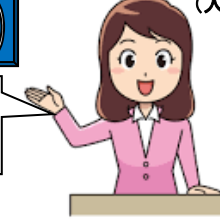
授業をデザインする8つの取組～確認のポイント～

授業をデザインする8つの取組とは、具体的に教師は何をすればいいの？
以下のポイントを参考に、校内研修等でご活用ください。



授業をデザインする8つの取組を基にした基本的指導過程 (※googleフォーム入力用の活用)

(入力用フォーム: QRコード)



校内研究、自己申告の授業、校内研修等で授業を参観する際に、以下の①から⑳のポイントを参考にし、授業観察の際にご活用ください。

認め合う・学び合う集団の形成

- 児童・生徒が互いに、認め合ったり、称賛し合ったりできるようにしている。
- 児童・生徒が粘り強く課題に取り組めるように、受容・称賛・励ましの言葉を掛け合っている。
- 教室掲示等、学習環境を整備している。

見通しをもたせる導入

- 児童・生徒に、何を学ぶか、どのように学ぶのか、見通しをもたせている。
- 学習の流れやめあてを提示している。
- 児童・生徒の興味・関心を高めている。
- ICT機器を活用し、課題の提示を工夫している。

発問の工夫

- 知的好奇心をかき立てる発問をしている。
- 考えを引き出すように発問している。
- 「なぜだろう」「どうしてだろう」と児童・生徒が課題を追究している。
- 教師が思考に働きかけるような発問や、本時のねらいを達成するための発問をしている。

価値ある対話の共有

- 比較・検討・分類・統合・関連付けしながら、児童・生徒の多角的に捉えている。
- 一人一人の考えを表出させている。
- 教師が児童・生徒の発言を価値付けている。
- 児童・生徒が考えたことを共有している。
- 児童・生徒が本時の学習課題を理解したり、課題を解決したりしている。

思考ツールの活用

- 多面的・多角的に捉えさせ、情報を整理・分析させている。
- 比較・検討・分類・統合・関連付けしながら考えたことを可視化し、操作させている。
- (例) ベン図、ピラミッド、イメージマップ、クラゲチャート、ダイヤモンドランキング、X・Y・Wチャート、マトリックス(表)

ICT機器の活用

- 大型提示装置を活用し、プロジェクターに教材を映している。
- chromebook等(GSuite)を活用し、教材を校内で共有している。
- GSuiteを活用し、共同編集作業に取り組ませている。
- ※実践事例集を参照

構造的な板書とノート指導

- ノートに書かせる内容を指示している。
- 情報が整理され、見やすく分かりやすい。
- 児童・生徒の考えたことをキーワードでまとめている。
- 1時間の学習内容や児童・生徒の思考過程を可視化している。

振り返りの設定

- 本時のめあてを振り返らせている。
- 学習内容をまとめている。
- 自分の言葉で本時の学習について自己評価させている。
- 次時の学習の見通しをもたせている。
- 単元のゴールを明確にしている。

1 授業をする前に(授業した後に)

- ①授業の「ねらい」「指導方法・内容等」を週ごとの指導計画に位置付けている。
- ②授業規律や授業のルールが学年・学校で共通理解・実践している。
- ③発言するときのルールが徹底されている。(挙手、返事、起立)
- ④自己肯定感が高まるような認め合う・学び合う集団を形成している。

2 授業準備

- ⑤授業開始の前に、机の上に教科書・ノート等をそろえている。
- ⑥授業開始の時間を守っている。

3 授業実践 導入

- ⑦既習事項及び生活体験に基づく導入をしている。
- ⑧「単元名」、「学習の流れ」、「学習のめあて」を明示している。
- ⑨興味・関心を高める「学習問題(課題)」及び「仮説(予想+理由)」を立てさせている。

ICT機器の活用

大型提示装置、chromebook等(GSuite)

4 授業実践 展開

- ⑩知的好奇心を高める問いや考えを引き出す発問をしている。
→「なぜ、どうして?どのように?何のために?」「もし~だとしたら?」
- ⑪児童・生徒の表情をよく観察し、児童・生徒のつぶやきを取り上げている。
- ⑫ノートに書かせる内容を指示し、児童・生徒の考えを整理して板書している。
- ⑬知識を構造化する思考ツールを活用している。(比較・検討・分類・統合・関連付け)
- ⑭児童・生徒自らの考えを表現(発表)できる場を設定している。(ペア、グループ、全体)
- ⑮児童・生徒同士、教師と児童・生徒による価値ある対話の共有の場を設定している。(比較・検討・分類・統合・関連付け)

5 授業実践 まとめ

- ⑯「学習のめあて」が達成できたか、児童・生徒の自己評価(振り返り)の場を設定している。
- ⑰児童・生徒を机間指導で評価し、到達度も把握している。

6 授業終了時・後

- ⑱授業終了の時間を守っている。
- ⑲習得した知識・技能を、補充する課題・活用する課題(宿題)を出している。
- ⑳本時の児童・生徒の学習状況を把握し、年間指導計画及び評価規準に基づいて適切に評価し、次時の授業改善の課題を明確にしている。